

経営比較分析表（令和2年度決算）

熊本県 南関町

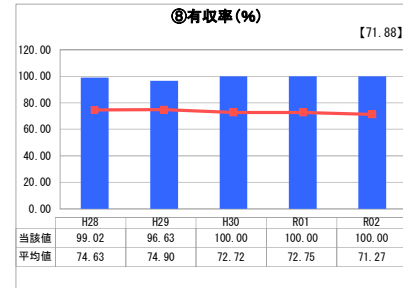
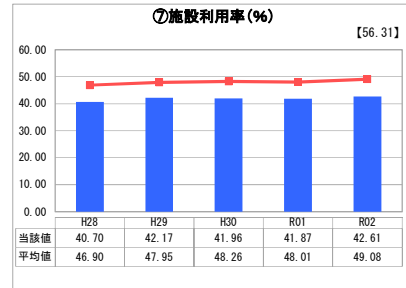
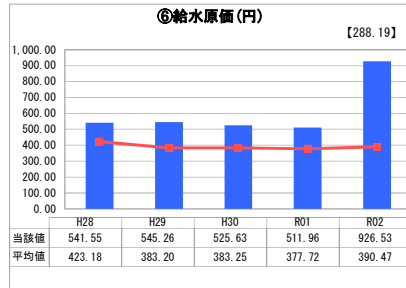
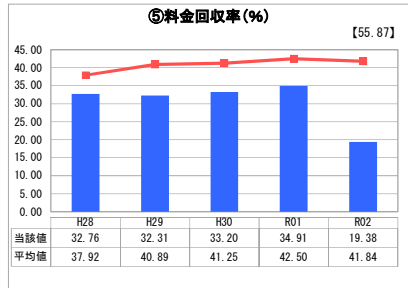
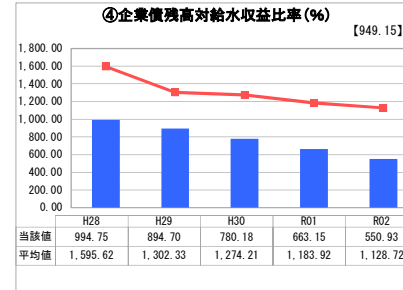
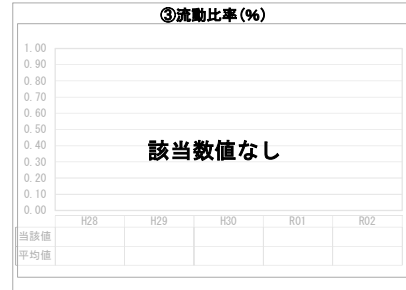
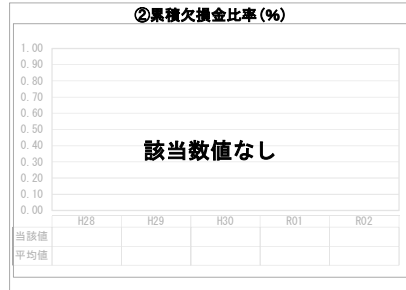
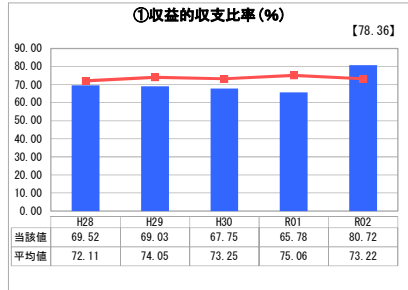
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	水道事業	簡易水道事業	D4	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	該当数値なし	0.95	3,300	

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
9,450	68.92	137.12
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
89	0.03	2,966.67

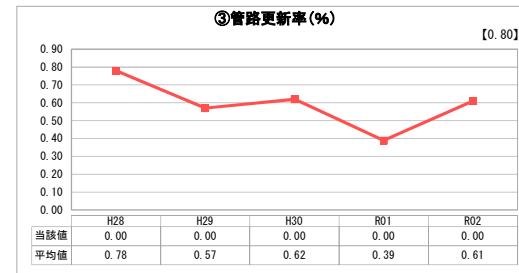
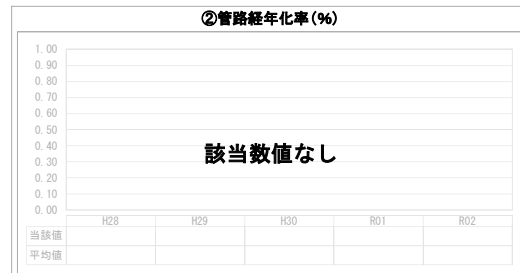
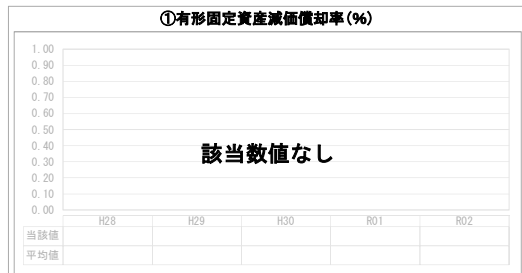
グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 令和2年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

⑤料金回収率の低下及び①収益的収支比率、⑥給水原価の増加については、令和2年度に中間槽ポンプの修繕を行い、一般会計繰入金で賄っているため、大きな変動となっている。
年々と簡易水道給水人口(計画人口180人規模)が減少しており、それに伴って料金収入も減少している。今後、簡易水道供給区域拡大の計画もない為、簡易水道供給人口の増加も見込めない状況である。

(給水人口の推移)
H27年度 100人
H28年度 102人
H29年度 101人
H30年度 93人
R 1年度 90人
R 2年度 89人

現在、維持管理費用を料金収入で賄えておらず、R2年度に策定した経営戦略に基づいて、料金体系や維持管理費の削減について検討を行っていく。

2. 老朽化の状況について

簡易水道事業はH8年度より給水開始し、25年経過している。老朽化については、各所修繕や改築が必要な箇所が出てきており、R2年度には中間槽ポンプ修繕、R3年度には計装機器修繕を予定しており、今後も維持管理費用の増加が懸念される。
R4年度には、管路の状況を把握するため、管路清掃を予定している。

全体総括

南関町では、水道事業の規模が小さく、簡易水道事業及び飲料水供給施設等を含めた水道供給率は、町全体の9%程度である。
事業規模が小さく、財政的にも厳しい状況にあり、施設の修繕や更新時期を迎えることになると更に厳しい経営状況が予想される。年々と給水人口が減少している状況を考えると、飲料水供給施設への移行を含めて料金体系や維持管理の検討が必要と考える。

現在の水道事業 1箇所
給水件数 34件
給水人口 89人